

施策評価シート（令和4年度 実績）

基本目標	ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
------	--------------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出		評価者	政策部長		
施策内容	今後の人口減少を視野に、ICT技術等の導入による行財政のスリム化と、コンパクトシティを考慮した施設の統廃合による公共施設の継続性をもった適正管理を進めます。 また、未利用町有地を町民主体の運営組織による独創的で柔軟な活用を進めることで、自然の魅力を感じられ、多世代が気軽に集える新たな魅力となる場を創出します。					
主な事業	予算等事業名		行政評価結果	KPI達成への有効性	説明	
	1	公共施設再配置	適当	有効だった	百合が丘老人憩いの家の解体に着手した。また、（仮称）富士見が丘公会堂の建設に伴う地域説明会を実施した。	
	2	財産管理経費	適当	有効だった		
	3	東大果樹園跡地活用事業 ● 推進交付金対象事業	適当	有効だった	感染症対策をとりながら跡地を活用した事業を実施した。	
	4	新庁舎整備事業	良好	有効だった	ラディアン周辺への新庁舎建設に向けた民意を確認した。	
	5	行政改革の推進（まちづくり総合調整事業）	適当	有効だった	第6次二宮町総合計画前期基本計画に行政改革大綱を包含した。	
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	公共施設の総延床面積（㎡）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	68,729.08	68,590.24	68,451.40	68,312.57	D
	実績		68,729.08	68,729.08	68,729.08	
	分析	百合が丘老人憩いの家の解体に着手したものの、解体完了が翌年度になった。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-	
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	年少人口（15歳未満）の転入人数（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	143	160	170	180	B
	実績		123	171	128	
	分析	東大跡地の活用が年少人口の転入人数に直結しないため、次期計画では変更する。				
	方向性	指標の見直し	目標値（指標）の見直し案		東大跡地利用団体数	
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	東大果樹園跡地を活用したイベントの実施数（回）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	0	10	15	20	B
	実績		2	5	17	
	分析	協議会組織が事業を実施しているものの、利用の拡大に繋がっていない可能性がある。				
	方向性	指標の見直し	目標値（指標）の見直し案		東大跡地利用団体数	
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	耐震未確認の地域集会施設数（施設）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	9	3	3	0	D
	実績		3	3	2	
	分析	残された2施設（茶屋、上町）は短期間に課題解決が困難なため、新たな指標を設定する。				
	方向性	指標の見直し	目標値（指標）の見直し案		1地区1地域集会施設化	

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未耐震地域集会施設について、百合が丘老人憩いの家の解体に着手した。</li> <li>・東大果樹園跡地の活用について、感染症対策をとりながらの事業が活性化した。</li> <li>・第6次二宮町総合計画前期基本計画に内包する形で行政改革大綱を策定した。</li> </ul>			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①進捗に課題がある2つの耐震未確認地域集会施設の今後の方針を考える必要がある。</li> <li>②（仮称）富士見が丘公会堂の建設に際し、地域との更なる話し合いが求められている。</li> </ul>			
	改善点 (課題番号 に対応)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①土地の所有権に課題がある茶屋老人憩いの家については、来年度調査を実施する。</li> <li>②（仮称）富士見が丘公会堂の建設は、予算を繰り越し、地域との話し合いを進めつつ工事を進めて行く。</li> </ul>			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった	

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の人口減少を見据え、コンパクトシティを考慮した町づくりは大切な視点であり、公共施設の再配置や行政改革への取り組みは評価できる。</li> <li>・新庁舎整備事業は、地震対策や利便性などを考えれば、喫緊の課題として取り組む必要があるが、整備用地に関してはさらに周辺住民への丁寧な説明も必要である。</li> <li>・新庁舎整備においては、ハード面のインフラ整備だけでなく、次世代を見据えたソフト面の整備も必要である。</li> <li>・東大果樹園跡地は登録団体以外の町民の活用が進んでいないと思われるため、もっと町民から関心を持ってもらえるような場所づくりが必要である。</li> <li>・東大果樹園跡地の活用に関連したKPI②「年少人口（15歳未満）の転入人数」とKPI③「東大果樹園跡地を活用したイベントの実施数」は、イベントの参加人数なども指標にできると考える。</li> <li>・KPI④「耐震未確認の地域集会施設数」は調整等の取り組みがなされているのであれば、評価を上げてもいいのではないかと考える。また、インフラの維持管理（健全度・状況）に関するKPIも設定できると考える。</li> <li>・KPI④は住民との話し合いを続けていく町の姿勢を示すのであれば、「今後の方向性について地域と検討継続中の施設」などをKPIとして設定できるのではないかと考える。</li> </ul>			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

	予算等事業名		行政評価の 方向性	総合戦略	
				方向性	特記事項
各事業の 今後の方向性	1	公共施設再配置 (担当課：施設再編課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の再編に伴う地域集会施設の整備等にあたっては、引き続き地域と話し合いによる、合意形成を図りつつ事業を進める。</li> <li>耐震性が未確認となっている地域集会施設のうち、茶屋老人憩いの家については、相続人調査を実施する。</li> </ul>
	2	財産管理経費 (担当課：財務課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の普通財産の管理状況等について整理を行い、土地調整委員会の協議結果等を踏まえつつ、今後の方向性を検討する。</li> </ul>
	3	東大果樹園跡地活用事業 ●推進交付金対象事業 (担当課：施設再編課)	要改善	見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>東大果樹園跡地は、既存の登録団体以外の利用が進んでいないことから、東大果樹園跡地活用協議会に広報等の強化について助言するとともに、町広報紙を活用した周知を実施する。</li> <li>上記協議会の事務局体制が不安定なため、町担当部署による協議会への助言・指導を強化する。</li> <li>上記協議会が解散することも視野に、今後の活用の方向性についても検討を始める。</li> </ul>
	4	新庁舎整備事業 (担当課：施設再編課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>新庁舎整備にあたっては、整備予定地の周辺住民に対して丁寧に説明しつつ、事業を進める。</li> <li>新庁舎整備は、引き続き災害時に対策本部としての機能のほか、日常の利便性等も考慮した設計となるよう事業を進めるとともに、次世代を見据えたデジタル化や機能配置といったソフト面について検討していく。</li> </ul>
	5	行政改革の推進 (まちづくり総合調整事業) (担当課：企画政策課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい行政改革大綱に基づき、「組織力の強化」「財政基盤の強化」「多様な主体との連携の強化」を3本柱に、行政サービスの質を維持した持続可能な行政運営に向けて行財政改革に取り組む。</li> </ul>